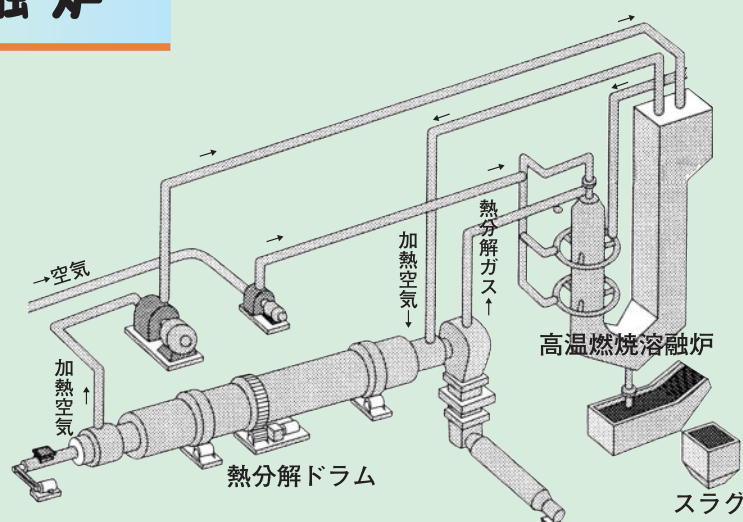


キルン式溶融炉

横長のドラム（キルン）にごみを投入し、回転させながらごみを蒸し焼きにし、発生したガスと炭化物は次の溶融炉で溶融されます。



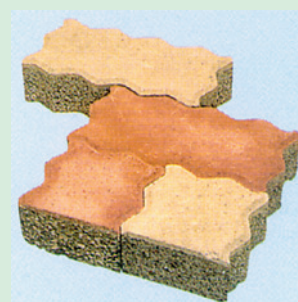
ごみのスラグ化とは

スラグとは、ごみを投入し、熱分解された「炭化物」が溶融炉にて溶融されたもので、重金属等を十分に溶出させたうえで脱水処理し、重金属が溶出しないよう科学的に安定させた状態になったものです。

この溶融スラグについては、

- 路盤材
- アスファルト用骨材
- コンクリート二次製品など

砂の代わりに有効利用することができます。また、埋め立て処分場の減量化・延命化にも繋がっていきます。



スラグの再利用

◀ インターロッキングブロック



◀ 砂状スラグ

★ガス化溶融施設普及のメリットとデメリット★

メリット

- 高温燃焼、溶融によりダイオキシン類の削減が図れる。
- 溶融処理により最終処分量の減容化及び処分場の延命化が図れる。
- 焼却処理に比べ排ガス量が少なく、環境への負荷の低減が図れる。
- 可燃ごみに混入している鉄・アルミが未酸化で回収できる。

デメリット

- 運転管理に高度な技術が要求される。
- 維持管理費が従来型焼却施設に比べ、割高となる傾向にある。
- 稼働実績による技術の確立度は、従来型焼却に比べ低いと言える。